

町政を問う

矢中改築にこだわる理由は!



須藤 羊一 議員

補強は二重投資の心配あり

須藤 財政再建説明会において借金依存体質脱却を掲げたのであるが、大義もなくそれを繰り返す。「世は変われど我関せず」では、主権者の理解と協力は得られない。所見を伺う。

町長 本町は実質公債費比率が高いことから、財政再建3ヶ年計画で借金依存体質からの脱却に努めるとしている。

そのために、その枠内で、まちづくり総合計画に基づく実施計画に計上された事務事業を事前評価することにより、優先順位をつけて、計画的に事業を実施することとしている。

矢中改築は、安全・安心な教育環境確保の観点から、やらなければならない事業と判断しており、財政計画をしつかり立てて実施してまいりたい。

矢中建設について

矢中建設に、福祉基金を使うのか

須藤 目的外使用は条例に反するのではないか。高齢化社会の現実にあってこの基金を廃止するのか。

須藤 耐震強度0.3以下は、国・県が改築の指導との事であるが、矢中よりも悪い0.2を補強している自治体がある。新築にこだわる理由と政策の転換もしくは修正をする事が賢明であると考える所見を質す。

矢中改築は、安全・安心な教育環境確保の観点から、やらなければならない事業と判断しており、財政計画をしつかり立てて実施してまいりたい。

耐震強度について



矢吹中学校

須藤 将来展望において、学校教育を進化させるために教育行政の改革が必要と考えるが、所見を伺う。改革を肯定するならば、その概要を伺う。

概要については、国の法令に基づく改革があり、それにのつとりながら教育委員会では第5次矢吹町まちづくり総合計画の中にある施策、魅力ある教育の推進、教育環境、教育施設の充実の主要事業、事務事業を一層推進してまいります。

須藤 福祉基金は高齢者等の福祉の向上のために使うこととなっており、条例の目的に沿った使い方をしてまいりたい。

町長 高齢者福祉に要する経費については、高齢化の影響から今後増加の傾向にあり、これに反して地方交付税については、削減傾向にあり財政運営が大変厳しくなることが予想される。

町長 長年をかけて関係者による調査検討と町民の皆様方の意見や要望を取りまとめて改築との結論に至りました。矢中は昭和40年から43年にかけて建設されてから約40年が経過し老朽化が甚だしい状況にあることから、補強による改修をしても近い将来改築しなければならない。また、二重投資になるなどの心配もありこのようなことから改築により対応してまいりたい。

教育行政について



矢吹小学校

町政を問う



柏村 栄 議員

町長の再出馬は？

町民の信任が得られるよう
再度町政を担わせていただきたい

任期満了に伴う
町長選の出馬に問う

柏村

町長任期も1期4年間過ぎようとしているが、

今までの4年間の実績と今後の方針などを踏まえ、2期目の挑戦を問う。

柏村 町長任期も1期4年間過ぎようとしているが、

今までの4年間の実績と今後の方針などを踏まえ、2期目の挑戦を問う。

年間過ぎようとしているが、今までの4年間の実績と今後の方針などを踏まえ、2期目の挑戦を問う。

町長 平成16年1月、町民の皆様から多くのご支持を受け、町政を執行させていただいてから約3年8ヶ月が経過しようとしておりまます。

就任以来、町政の信頼回復を第一に、町民との対話を重視した町民本位の明るく元気なまちづくりを進めてまいりました。

この間、町政を取り巻く環境は激しく変化し、就任当初に抱えていた市町村合併の問題は、関係する近隣自治体のそれぞれの議論や事情等から合併には至らず、本町は当面、自立のまちづくりを進めることといたしました。

今後も議会を初め町民の皆様から信任が得られるよう精一杯努力をし、再度4



総合運動公園予定地（山林）

指定管理者制度と再任雇用制度の一本化を

柏村

人材的にも経験豊かで仕事をするにもふさわしい職員退職者の再任雇用制度を導入し、指定管理者制度との併用について問う。

町長

平成18年度から行財政改革の最も重要な実施項目の一つとして、健康センターを初めとする公共施設への指定管理者制度を導入しました。

町長

今後の利活用の方

方法については、さまざまな方法が考えられる。

一つは、必要最小限の運動施設機能を備えた農村公園的な整備の考え方。二つ目

は、民間の活力を活用した開発等により経済効果を高める考え方。三つ目は、売却等の方法により、運動施設以外の利活用をする考え方があると想定している。

今後、町が実施している業務内容の点検により委託可能な業務を洗い出し、現在の再任雇用制度と指定管理者制度の関連も調査しな

がら、退職職員のNPO団体導入への参加、あるいは新たな組織化なども視野に入れて、よりよい民間委託、指定管理者の導入を幅広く検討してまいりたい。

総合運動公園の今後の取り組みに問う

案があった。
また、近隣住民からは「山が荒れて危険である」と心配する声が多い。

運動公園用地に関しての今までの取り組みと、今後の方針を問う。

町長 今後の利活用の方

方法については、さまざまな方法が考えられる。

一つは、必要最小限の運動施設機能を備えた農村公園的な整備の考え方。二つ目

は、民間の活力を活用した開発等により経済効果を高める考え方。三つ目は、売却等の方法により、運動施設以外の利活用をする考え方があると想定している。

今後、これらの考え方を取りまとめ、利活用のたたき台を作成し年度内には議会を初め、町民の皆様のご理解をいただく場を設定したい。

今後、これらの考え方を取りまとめ、利活用のたたき台を作成し年度内には議会を初め、町民の皆様のご理解をいただく場を設定したい。